

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
子どもとの接し方、親がどうあるべきかを改めて考えさせられました。親自身変わってみようと思いました。
兄を含め3度目の参加となりましたが、その年その年、全くちがう方と意見を交わし合い、子育てにおいていろいろ語り合えて、またこうやったらいいねとかお互いにいい刺激になっていいなと思いました。
ビデオや他の人の話を聞いて、あらためて子どもに対しての声かけ、対応を考えました。しっかりと子どもを信じること、しかし関わりすぎず、口を出しすぎず、上手に距離感をたまちながら、子育てしていけるといいなと考えました。
他のみなさんの意見をきいて、うちだけじゃないということ、みんな同じように口出ししないように我慢して、どうしても口出しをしてしまう。みんな一緒だなという事がわかり、少し見守っていいことと思いました。子育てについて色々きけて良かったです。
ビデオは何回見せて頂いても、心にひびくものがあります。子より親のほうが、学ばないといけない事がたくさんあります。
子どもの目標や行うことを、親の方が忍耐強く待ちながら、時にはアドバイスやはげましをしていくことが必要だと思いました。親が関わりすぎて、子の成長のさまたげになることがあるということも知りました。
いろんな保護者の方と悩みを共有し、改めて、おの100にむけて親もがんばろうという話のできたのでよかったです。
子どもに対しての接し方など愛情をもち、信じてやる事を大事にしていきたいです。子どもが完歩でき、みんなと笑顔で帰れるようにかかわっていきたい。
思春期の子どもを持ち、見守ることが今できない状況です。見守りつつ、見守っていることをどのように伝えていけばよいのかなと考えています。今日のセミナーを受けて、他の方の話を聞き、はっきりと結論は出ませんが、少し気分が楽になった気がします。(自分の内省が出来たのだと思います。)
「親が変われば子どもが変わる。」”5つの過”に気をつける。自分が変われば子どもも変わる。一緒に成長していけたらいいな。普段気付かないことに気付かせてもらえました。
同じビデオを複数回見ることで、新しい気づきがあるので、自分自身のためになります。
みなさん子どもの事で、色々なやんでいらっしゃる事がわかりました。
柿本団長さんが好きだとおっしゃっていました、親は弓、子は矢という言葉が深く心に残りました。私も常日頃、親は港、子は舟という気持ちでいるよう心がけてはいるのですが、男の子3人に囲まれてすぐイライラし、マイナス面の気持ちでいっぱいでした。改めてこの言葉を胸に、日々子どもと接しようと思います。
子育てについて、他の保護者さんの意見も聞けてよかったです。
日々の生活での、親の子どもに対する反省点がいくつかありました。どちらかというと、甘やかせて育てているので、もっと自律をさせないといけないなあと思ったのと、もっとコミュニケーションをとらないといけないなあと思いました。
2回目ですが、1回目とは違う気持ちでセミナーを受けることができました。あらためて子どもとの関わり方、待つこと、見守ること、任せること、子どもの可能性を親が判断しないことなど、考えることができました。
ビデオを見て、見守る事も必要だと思った。普段は過保護にしすぎていたなと思った。
親として反省しなければいけないと思いながら、今まで何も変わらずに過ごしてきました。今日セミナーを受講して、変わらなければと強く思いました。
親と子の立場をしっかりとし、あまやかせるのではなく、時にはきびしく接して、早く自立できる様になってほしいという気持ちになった。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
ビデオは確かにいい内容だったが、この事業との関連がどこにあるのか、観る前に説明してほしいと思った。
同じ年頃の子どもを持つ方々と、テーマに添って話をする事で、改めて子育ての難しさ、様々な思いが知れて良かったです。親ももっと成長しなくてはいけないこと、子離れなど考えるきっかけができました。
自分の認識の甘さを知った。(子育てについて)
4度目の映像でしたが、何度見ても、考えさせられています。また、たくさんの人から、考えや意見を聞くと、自分だけではないのだと思うと共に、「大丈夫」って声をかける声が、自分にも力をくれている様な気持ちになりました。
子どもが同世代の親の方々と意見交換が出来て良かった。家庭での関わり方で、もう少し見守る事を増やしたいと思う。
普段話したことの無い方と、日常の子どもの話題をすることで、改めて自分の子どもへの接し方を考えることができたと思う。
昨年受けていましたが、あらためて感じた事が沢山ありました。優しさだと思いながら接している事が、実は子どもの自立を妨げてしまっているように思います。子どもが自分で気が付かなければ、身に付かない、成長がないと感じました。
いろんな方の意見を聞き、勉強になりました。
口を出さず、見守る姿勢の難しさを知りました。
子どものかかわりについて、考える機会をいただきました。見守る事、信じる事、じっとがまんして待つ事、とても大事で大変なことです。これから、いつも頭に入れておこうと思います。
ビデオが長いので、30~40分程度で、ディスカッションに時間をとれる方が、研修会として有意義だと思いました。遠方から来られている方もいらっしやっただので。
本セミナー、正直、最初は、話を聞けばいいと思っていましたが、大人の自分たちにとっても、見ず知らずの方々とあまり話をする機会が無く新鮮であった。子ども達に対しても色々考えて下さっており、学生ボランティアの方々も自主的にシミュレーションを行っており、楽しみが増えたと思います。
口出しではなく、見守りをできるようになりたい。日頃の子育てについて考えるよい機会となった。
子どもに対する接し方を考えさせられました。
当たり前だけど、忘れていた事が意外と多かったです。
親の背中がどうなっているかを判るきっかけになりました。他の人との話は、いい緊張感があります。
昨年同じセミナーを受けて、自分のこの1年の子どもとの関わりを思うと、反省、課題がたくさんありました。子どもの成長を見守る、親の忍耐が必要だなどと思いました。
完歩したときの顔が楽しみです。
今回で2回目ですが、グループディスカッション等で初めて会う保護者の方の話を聞かせていただきとても参考になりました。
普段、自分が子どもに対する接し方が正しいのか？もう少し子どもを信じて口出しするのを控えた方がいいのではないのか。いろいろ考えさせられました。
親が背筋を伸ばしていかないといけないと思った。自分が変われば子どもが変わるという点を忘れずに子どもの気になる部分は自分から直していきたい。
他の保護者の方の話(家庭での)、子育ての事や、夫婦でも子育てについて気持ちが違う事など、いろいろ話せてよかった。
日頃、子どもに対する口のきき方、手助けの仕方等、反省すべきことが多々あったと思いました。親のすることは、よく見ているとわかっていましたが、なかなか直せない自分がいたことに反省です。否定より肯定で会話できるようにしたいと思いました。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
このセミナーに参加された方々は、お一人お一人がとてもしっかりと自分の子どもさんの事を思っていて、期待や子育ての考えをもたれていて意見を交わし合う事ができて、とても勉強になりました。今後の我が家の子育ての参考、目標となることばかりでした。
3回目ですが、今回初めてディスカッション時間が最初にあり、セミナー全体の流れがよかったですと思いました。
DVDに出ている母親が自分だったら、あのお母さんのように上手に伝えられないと思います。日頃、おこってばかりなので、うまく伝えられないのではないかと思います。
ビデオをみて、改めて子どもとのかかわりを考えることができました。ビデオには、非常に共感できて、最後は涙うるうるだったのですが、家庭におきかえると、「子どもが苦勞する姿はみたくない」という親の思いから、すべて先回りして、教えてしまいそうです。子どもが自分で体験して、考える機会をうばってしまわないように気を付けたいと思います。
子育てについて、悩みを相談する場所はあまりないので、今日初めてお会いした方々と色々話すごとができ、非常に勉強になり、また、みんな同じ思いで子どもと接しているのだなとわかり、安心する気持ちにもなりました。
つついすぐに口出しをしてしまいがちですが、自立させる為にも、そしてお互いの為にも、時にはきびしく見守る事も大事だと思いました。
ビデオは子どもと一緒に見る機会があっても良いのではというグループの意見もありました。時代が違うので、そのままというのはむずかしいですが、親のブレない気持ち(対応)、そして、子どもを信じて、見守るという所は見習いたいと思いました。
子どもの成長には、まず親がすべきことがたくさんあると思いました。日々の生活の中で、親が楽しなくて、我慢させている(やらせていない)ことが多いと感じます。
中途半端に事をすると、結局は自身やまわりを傷つけてしまいます。セミナーの中で、「相手を想う」ことが、幸福への糸口なのだと改めて教わりました。それをふまえた上で、家族のきずなや、近所づきあい等、親が実行することが子のためになるということを知りました。
信じて待つ、ということは子どものため、待てないのは親の都合なのだなあと改めて思いました。子育ては親育て、本当に大変です。立ち止まって、ふり返る機会をくださって、ありがとうございます。子どもと接する時の力にしていきたいです。
子育てについて、様々な方向から考え直す良い機会になりました。同じ状況の親御さん方と情報を共有できて良かったです。
親自身が肯定感を持たずに生きているのかもしれない。次世代に良い風をみんなが受けられるよう、小さな感動、親切をつみかさねていきたいと感じました。
親が変われば子どもも変わる。その通りで、親の背中を見て、大事な事だと思う。過保護、過干渉が多いと思うので、甘えが多く、がまんする力が足りないと思います。
日々の生活の中で、忘れてしまうことを思い出させていただく気がします。子どもへの接し方を、今一度考えようと思いました。
グループディスカッションをする中で、2年目、3年目の方のお話を伺う事が出来、参加後の子どもさんの変化の様子を直接伺えて、とても参考になりました。今回、初回の為、親も子どもも、これといった目標を持っていませんでしたが、今回のディスカッションで、もっと明確な目標を立てて、参加させて頂きたいと思いました。
つつい口を出しすぎてしまい、先々を考えてあげてしまう所があるので反省しています。待つてあげる、後ろから見守るといった姿勢でありたいと思います。最後の「こども」という詩をいつも心に留めておきたいと思いました。
正常、3回目の同じ映像をみるという所で、もういいや。と思っていましたが、今回は自分の中に入って来る(響く)ところが違い、やっぱりみて良かったと思いました。ディスカッションは毎回楽しいです。ただ、発表をしないと!という所ではドキドキしてしまいますが、色んな意見をきけて良かったです。
これまで何気なく接していた子どもとの関係、またこうなってほしい、こういう風にしてほしいというおしつけも多かったのではないかと気づき、反省しています。子どもにどういったことを感じ、成長してほしいのかをもう一度見つめ直してみる、良い機会になりました。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
子どもが自立しようとしている時に、親やまわりの人々がどのようにサポートするかがポイントになってくるのかと思いました。声かけ、見守り等。
あらためて、子どもへの接し方について考えました。見守る事の大切さ、必要な声かけのしかたなど、まだまだ学ばなければいけない事が沢山あると感じました。
子どもへの思いを再考させられた。
毎回セミナーを受講して、親もしっかりと成長しないといけないなあと思ってしまいます。子どもをよく見て、良い適切に関わりたいと思います。
子どもを一步引いた所から見守ることを実行しようと思います。おの100から帰ってきたら、しっかりほめてやろうと思います。
子どもを信じて、見守ることができるようになったらいいと思います。
日頃の子どもに接している姿勢について、無意識に行動していることが、子どもにとって良い影響を与えていないこと(過干渉)があるのではないかと思った。子どもに対して限界を親が勝手に設定して、ブレーキをかけているかもしれない。
子育てについて色々と考える事が出来ました。
おの100を通じて子どもも学びがあるが、大人もたくさんの事を学ぶ事が出来る。その学ぶ事をどう生かしていくか大切だと思った。
つい目先のことに注意がいきがちになってしまいます。長い目でみて、子どもを信じて辛抱強く待つ。なかなかできないことですが、自分の子育てについてふりかえり、考えるきっかけになりました。
子育て、子どもとのコミュニケーションのとり方について、改めて考える事ができました。甘やかさないようにと心では思っている、つい口や手が出て過保護になっていると思うので、気を付けたいです。
過干渉になり過ぎて、適度な距離からの見守りができてない事を改めて感じた。
時代は古いですが、子ども達にも見せたい話だと思いました。ガミガミいわずに見守る事も大切だと思いました。
子どもとのかかわり方、つつい手も口も出しがちですが、子ども自身がしっかり考える時間をとり、こちらは待つことも大事。「てんびんの詩」子どもにも観せたいですね。感動しました。
グループワークで、色々な保護者の方の”子育て論”が聞けてよかったです。映画の中の”親の心がまえ”をあらためて考えさせられました。時代はちがえど、大もととなる心がまえは同じですね。おの100に参加する親御さんの子育てに対する意欲・意識の高い方がたくさんいらっしゃる中で、意見をきける貴重な研修会でした。
やってはいけない子育て”5つの過”を見て、いくつか心あたりがあると思いました。VTRの中でもあった様に、もう少し子どもを信じて、先まわりし口を出さず、見守ってやる事に気がついたと思います。自分の背中を見ている事に常に意識し、生活していきたいです。”過去と他人は変えられない”も全くその通りと思います。
うまくは言えませんが、よかったです。
私たち親は、子どもの土台を作っていかななくてはならないと改めて感じ、待つことが必要なのだと思いました。
グループディスカッションでは、市外からの参加者の方が2名いらして、それぞれ期待される事も違っており、勉強になりました。
子どもとのかかわり方について、あらためて考えるきっかけとなったと思う。思いはあっても、子どもとかわる事はなかなかむずかしいと思う。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
子どもは私を見ている。私が悪い事をした時は、ズバリと言ってくる。自分がきもちの良い心ですごせるように、日々をしっかりと、私がすげさないといけない。私は自分ができていない事を子どもに言う事がある、改めない。子どもは今、成長している途中なんだ、失敗したり、どうしていいか分からなかったり、甘えたり、その甘えている自分にきづく力をつけて、色々な経験をして、胸をはれる人になってほしい。人に優しい人になってほしい。
子どもが頑張ってる時は、親も何かと頑張らないと！まずは、親もやってるんだよ！という姿を見せる事。グループディスカッションで出た意見にとても共感した。さっそく実行したいです。
子どもががんばる時は、親もがんばらなくては、と思わされました。家に帰り、親子で目標を話し合い、それに向かって共にがんばっていきたいと思います。
昨年参加させてもらっていますが、悩みはつきず、気付く事はたくさんあります。昨年と今年では、子どもの成長とともに変化していますが、もっと考えさせ、待つてあげれる親になりたいです。
「わがまま病」今の我が子に当てはまります。おの100の5日間で「忍耐」してがんばってもらいたいと思います。よいことを(詩など)たくさん教えていただいて良かったです。意見交換のときに、聞いていると、皆さん同じようなことを思ったり悩んだりされているんだなと思いました。
親としての自覚がまだまだ足りていないと思います。子どもと共に成長していきたいです。
映画の内容も良かった。子どもへのかかわり方を改めて考えさせられた。
このセミナーは、今回で4回目ですが、毎回、勉強させてもらいます。日々、子どものことは考えているけど、子どもの自立をサポートと、終わりの「こども」という言葉は、私の心に素直に入ってきて、がんばるーと思わされます。